

群馬県立文書館 新規公開文書展2021〔資料6～9〕

山高幾之丞関係文書（請求番号P01111）



教育者・山高幾之丞に関する文書群です。長年、山高家で保存されてきたもので、同家より預かった群馬大学名誉教授・所澤潤氏が寄贈されました。

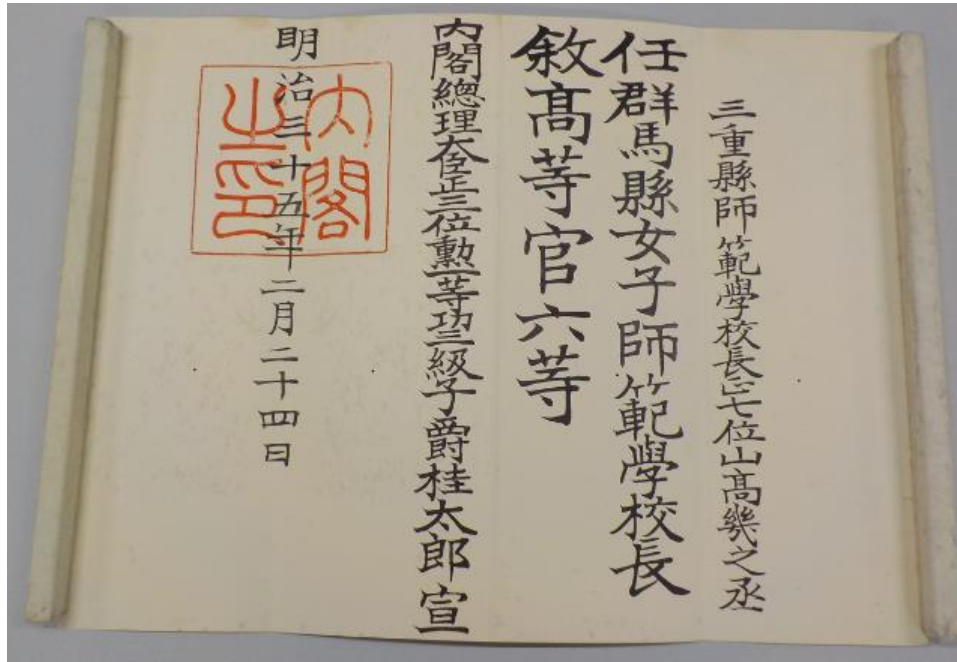
幾之丞は群馬県女子師範学校（現在の群馬大学教育学部の前身の1つ）の初代校長を勤めましたが、在職中に死去しました（満44歳）。

当文書群の中心は、日記・日誌類11点、辞令・感謝状など約130点、試験答案用紙などの教育関係の資料、生徒らとの集合写真などです。計264点公開。

なお、フェミニストで戦後、参議院議員を務めた山高しげり（1899～1977）は彼の子どもです。



	表題等	年代	作成者→宛先	形態・数量	文書番号等
6	〔辞令〕	明治35 (1902)年	内閣総理大臣 桂太郎 → 山高幾之丞	1通	山高関係 2-94
初代の群馬県女子師範学校(群馬大学教育学部の前身)の校長に任命された幾之丞の辞令です。					



山高幾之丞は元治元（1864）年、紀伊国和歌山（現和歌山市）に生まれ、東京師範学校で学び、三重県師範学校に勤めていました。校長の職にあった明治35(1902)年、群馬県女子師範学校初代校長に任命されました（満38歳）。

群馬県女子師範学校は、現在の群馬大学教育学部の前身の1つです。現在の前橋市にありました。

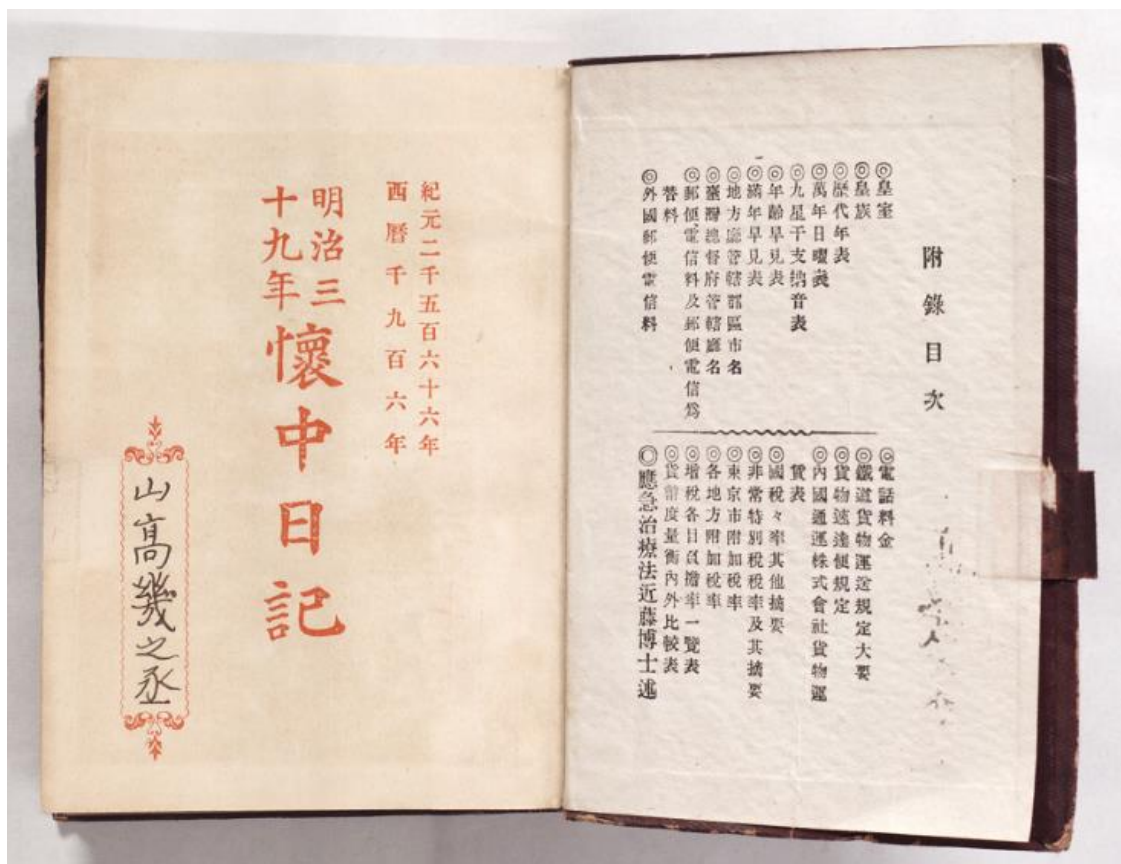
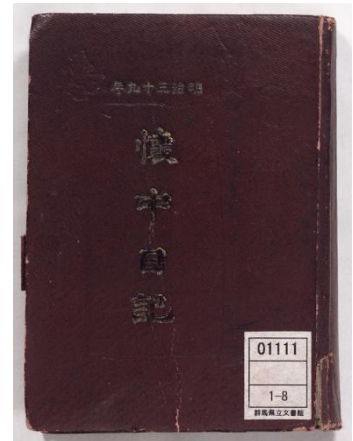
この辞令には、内閣の大きな朱印が押されています。当時の総理大臣は桂太郎（1848～1913）です。桂は日露戦争時（1904～1905）の内閣総理大臣で、彼の在職期間は最近まで憲政史上最長でした。

7	明治三十九年懷中日記 (1月1日～12月31日)	明治39 (1906)年	山高幾之丞	1冊	山高関係 1-8
山高幾之丞による自筆の日記で、署名もあります。当時の市販の日記帳・手帳の様子もわかります。					

当文書群の特色の1つは、日記が11冊あることです(うち1冊は、父親の幾之丞をまねた子どもによるものかもしれません)。年代は1冊が明治10年代で、ほかは明治30年代のものです。

内容は仕事に関するものが多く、学校行事や群馬県内の学校への視察などのほか、教育現場で役立ちそうな格言や当時得た知見なども書き留められています。1冊を除き、市販の小型の日記帳を用い、ペンや筆で書かれています。

日記帳自体で興味深いのは、日記を書くページの余白に生活上の教訓や詩歌が印刷されていたり、様々な情報が付録として掲載されていることです。日本の日記帳・手帳の文化にもふれることができる資料です。



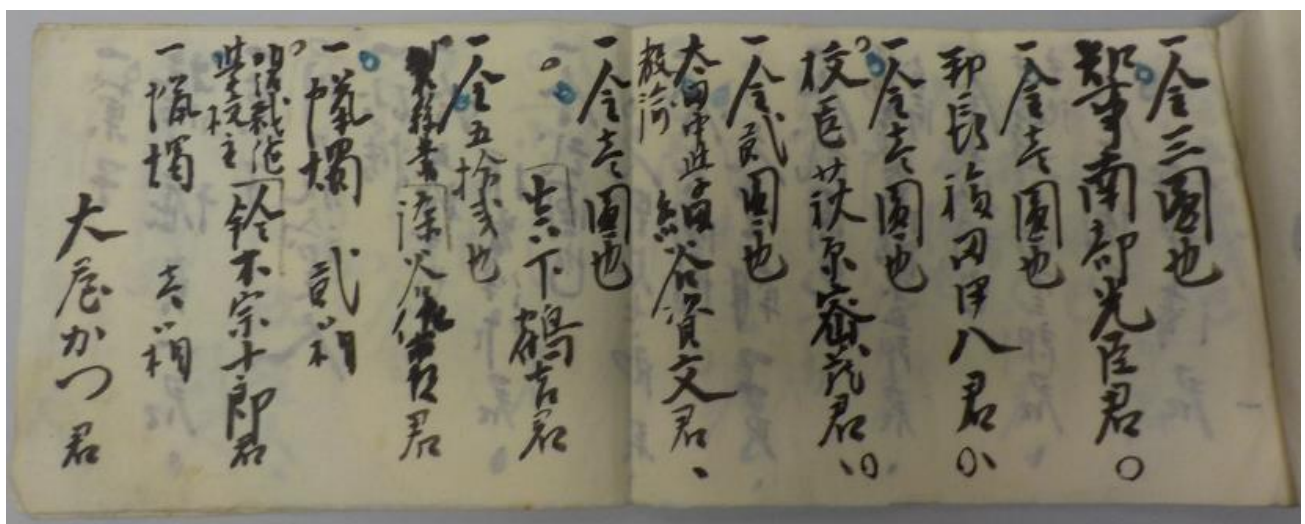
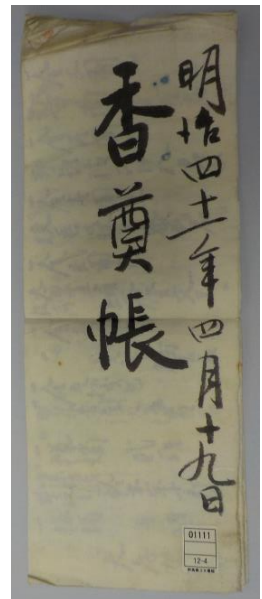
8	香奠帳 (知事 南部光臣、郡長、校医など、香奠 全額204円70銭、ほか)	明治41 (1908)年	横長 1冊	山高関係 12-4
	幾之丞の逝去に際し、当時の群馬県知事や医師萩原密蔵(詩人・朔太郎の父)ら多くの人から香典が寄せられたことがわかります。			

幾之丞は群馬県内の学校教育の向上に精力的に取り組んでいましたが、満44歳で亡くなりました。

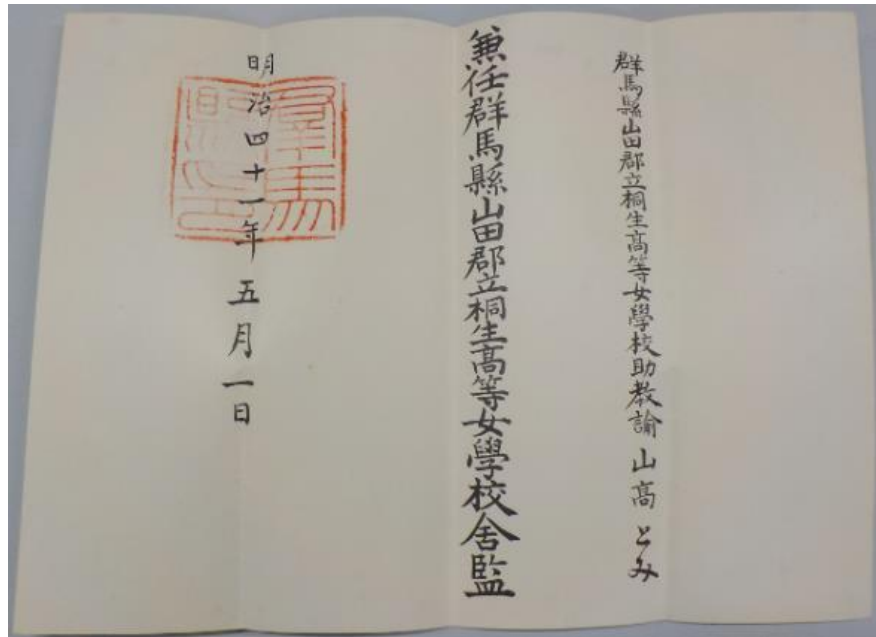
この資料は葬儀の際の香典帳です。1人めの「知事 南部光臣」は当時の群馬県知事です。2人めは「郡長 福田伊八」で、3人め「校医 萩原密蔵」は、前橋市出身で日本近代詩に大きな功績を残した萩原朔太郎(1886~1942)の父親です。

香典帳には県内外の多くの人々の名前が見え、本県で生涯を閉じた幾之丞の功績が偲ばれます。

なお、写真帳(文書番号10-1)には、前橋市内での葬列を撮影したと思われる写真もあります。



	〔辞令〕	明治41 (1908)年	群馬県 → 山高とみ	1通	山高関係 2-128
9	この年に開校された桐生高等女学校の助教諭兼舎監に任命された幾之丞夫人の辞令です。この学校は2021年4月から新設の桐生高校に統合される桐生女子高校の前身です。				



山高関係文書の最後は2021年4月、新設の桐生高校に統合される伝統校・桐生女子高校、通称「桐女（きりじょ）」に関する文書です。

この辞令からは、幾之丞の逝去後、夫人とみが桐生高等女学校（後の桐生女子高校）の助教諭・舎監として、桐生町（現桐生市）に赴任したことがわかります。桐生高等女学校は、辞令にある明治41年5月に開校した新しい学校でした。

とみは三重県出身で、東京の女子師範学校（現在のお茶の水女子大学）に学び、教員として幾之丞の同僚でした。夫の死去により仕事に復帰した彼女は、その後も群馬県外の学校で働き続けて子どもを育てました。子の1人、山高しげりがフェミニストとして活動した理由の1つは、一人親世帯の苦勞を知っていたことだともいわれています。